



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2024年11月8日

上場会社名 ヲタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 業務部次長 (氏名) 齋藤 幸治
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 0569-72-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,180	5.7	369	16.3	441	13.2	306	21.2
2024年3月期中間期	6,792	1.6	317	31.3	389	27.0	252	32.3

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	44.05	
2024年3月期中間期	36.35	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
2025年3月期中間期	25,143		22,352			88.9
2024年3月期	24,871		22,157			89.1

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 22,352百万円 2024年3月期 22,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		20.00		20.00	40.00
2025年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	0.7	750	27.9	860	23.3	570	24.0	82.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	8,832,311 株	2024年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,884,581 株	2024年3月期	1,884,481 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	6,947,802 株	2024年3月期中間期	6,947,915 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善への期待やインバウンド需要等に支えられ、景気が緩やかに回復をみせる一方で、長引く物価高による消費者の購買意欲の停滞や円安に伴う原材料価格上昇、人手不足の影響によって、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、継続する物価上昇による消費意欲の減退、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格や燃料費の高騰は続くと思われ、厳しい経営環境が継続していくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は独自技術からの新たな食文化の創造を基本戦略とし、取引先への積極的な製品提案、開発体制の強化とともに、最適な設備投資と業務の効率化・適正な生産体制を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は7,180百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は369百万円(前年同期比16.3%増)、経常利益は441百万円(前年同期比13.2%増)、中間純利益は306百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、鰹のたれ、液体添付スープ共に売上が順調に伸び、売上高は2,448百万円(前年同期比8.4%増)、セグメント利益は115百万円(前年同期比54.1%増)となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が伸び、売上高は2,271百万円(前年同期比2.5%増)となりましたが、セグメント利益は101百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

チルド食品部門は値上げの効果もあり、売上高は964百万円(前年同期比2.9%増)となりましたが、セグメント利益は130百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

即席麺部門は、受託製品が増加し、売上高は830百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は14百万円(前年同期比1341.6%増)となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加し、売上高は664百万円(前年同期比16.3%増)となりましたが、セグメント利益は6百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における資産の部は25,143百万円となり、前事業年度末と比べ271百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が1,741百万円、投資有価証券が39百万円増加し、現金及び預金が1,155百万円、建物(純額)が59百万円、機械及び装置(純額)が164百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,791百万円となり、前事業年度末と比べ77百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が48百万円、その他が97百万円増加し、買掛金が56百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は22,352百万円となり、前事業年度末と比べ194百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が167百万円、その他有価証券評価差額金が27百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ975百万円減少し、4,547百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により得られた資金は731百万円となり、前年同期と比べ237百万円(48.2%)の増加となりました。営業活動で得られた資金の主な要因は、税引前中間純利益439百万円、減価償却費303百万円、未払消費税等の増加71百万円による資金の増加、並びに棚卸資産の増加41百万円、仕入債務の減少56百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動の結果使用した資金は1,567百万円となり、前年同期と比べ250百万円(19.0%)の増加となりました。投資活動による使用した資金の主な要因は、定期預金の預入による支出656百万円、有形固定資産の取得による支出1,747百万円、定期預金の払戻による収入836百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動の結果使用した資金は139百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.1%)の支出増となりました。なお、財務活動による支出は、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,447	5,291
売掛金	1,797	1,762
商品及び製品	584	600
仕掛品	25	35
原材料及び貯蔵品	284	299
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	171	81
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	14,803	13,564
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,125	2,065
機械及び装置（純額）	1,450	1,286
建設仮勘定	2,849	4,590
その他（純額）	1,411	1,395
有形固定資産合計	7,837	9,337
無形固定資産	54	46
投資その他の資産		
投資有価証券	2,018	2,058
その他	158	136
投資その他の資産合計	2,177	2,194
固定資産合計	10,068	11,578
資産合計	24,871	25,143

(単位:百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,120	1,063
リース債務	1	1
未払法人税等	97	145
賞与引当金	166	165
役員賞与引当金	14	7
その他	339	436
流動負債合計	1,738	1,819
固定負債		
リース債務	1	1
退職給付引当金	967	964
役員退職慰労引当金	5	5
固定負債合計	974	971
負債合計	2,713	2,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	22,491	22,658
自己株式	△3,457	△3,458
株主資本合計	21,354	21,521
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	803	830
評価・換算差額等合計	803	830
純資産合計	22,157	22,352
負債純資産合計	24,871	25,143

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,792	7,180
売上原価	6,049	6,390
売上総利益	742	789
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	145	151
賞与引当金繰入額	21	19
役員賞与引当金繰入額	5	7
退職給付費用	11	8
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
その他	241	232
販売費及び一般管理費合計	425	420
営業利益	317	369
営業外収益		
受取利息	12	18
受取配当金	44	46
雑収入	17	9
営業外収益合計	73	74
営業外費用		
賃貸費用	1	1
減価償却費	—	1
雑支出	0	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	389	441
特別損失		
固定資産除売却損	4	1
固定資産撤去費用	24	—
特別損失合計	28	1
税引前中間純利益	360	439
法人税、住民税及び事業税	122	130
法人税等調整額	△14	2
法人税等合計	108	133
中間純利益	252	306

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	360	439
減価償却費	266	303
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	△2
前払年金費用の増減額 (△は増加)	1	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	0
有形固定資産除却損	4	1
有形固定資産撤去費用	24	—
受取利息及び受取配当金	△56	△65
売上債権の増減額 (△は増加)	7	35
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△75	△41
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44	△56
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	71
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△0	7
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38	90
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	46	△21
小計	502	752
利息及び配当金の受取額	56	64
法人税等の支払額	△65	△85
営業活動によるキャッシュ・フロー	493	731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△896	△656
定期預金の払戻による収入	136	836
有形固定資産の取得による支出	△532	△1,747
有形固定資産の除却による支出	△24	—
その他の支出	△0	△0
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,316	△1,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139	△139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△962	△975
現金及び現金同等物の期首残高	9,279	5,523
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,316	4,547

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,259	2,217	937	807	6,221	571	6,792
外部顧客への売上高	2,259	2,217	937	807	6,221	571	6,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,259	2,217	937	807	6,221	571	6,792
セグメント利益	75	101	132	0	310	7	317

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,448	2,271	964	830	6,515	664	7,180
外部顧客への売上高	2,448	2,271	964	830	6,515	664	7,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,448	2,271	964	830	6,515	664	7,180
セグメント利益	115	101	130	14	362	6	369

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。